

2023年4月28日

アセットマネジメントOne株式会社

## 『ザイ投信グランプリ 2023』初受賞！

アセットマネジメントOne株式会社（東京都千代田区、取締役社長 杉原 規之、「AM-One」）は、株式会社ダイヤモンド社が創設した「ザイ投信グランプリ2023」において、あわせて5ファンドが最優秀賞および優秀賞を受賞しましたことをお知らせします。

運用するファンドに関しては、「MHAM株式オープン」が「日本株総合部門」での受賞。そして、「企業価値成長小型株ファンド 愛称：眼力」は、「日本中小型株部門」で最優秀賞を受賞しました。

その他、国内資産を投資対象とするファンドが「個人投資家にとって、長期で安心して保有できる投資信託」として評価されております。

各ファンドの詳細につきましては、当社ホームページのファンド情報をご覧ください（<http://www.am-one.co.jp/fund/>）。



### 〈受賞ファンド・分類一覧〉

#### 日本株総合部門

賞	ファンド名称	ファンド愛称
優秀賞	MHAM 株式オープン	-

#### 日本中小型株部門

賞	ファンド名称	ファンド愛称
最優秀賞	企業価値成長小型株ファンド	眼力
優秀賞	新光日本小型株ファンド	風物語
優秀賞	新光小型株オープン	波物語

#### リート部門（国内）

賞	ファンド名称	ファンド愛称
優秀賞	DIAM J-REIT オープン（2ヵ月決算コース）	オーナーズ・インカム 2M

※当該評価は、過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

## 【「ザイ投信グランプリ2023」について】

■「ザイ投信グランプリ2023」は、「ダイヤモンド・ザイ」が信頼し得ると判断した過去のデータに基づいた情報提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また当グランプリは信用格付を行なうものではありません。当グランプリに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は「ダイヤモンド・ザイ」編集部に帰属しており、無断転載・複製等を禁じます。

■ダイヤモンド社が発行する月刊マネー誌『ダイヤモンド・ザイ』が主体となり、「個人投資家目線で本当にいい投信を表彰する」新しいアワード。個人投資家にとって、長期で安心して保有できる投資信託を公平・中立な立場で実績の数値をもとにした完全な実力主義で選出している（評価基準日：2022年12月末）。評価対象は、「日本国内で販売登録されている」「5年以上の運用実績がある」「純資産10億円以上（毎月分配型は純資産50億円以上）」の投資信託です。評価方法の詳細は『ダイヤモンド・ザイ』6月号に掲載。詳細は株式会社ダイヤモンド社のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.diamond.co.jp/information/magazine/zai20230420.html>

## 【投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項】

### 【投資信託に係るリスクと費用】

#### ●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

#### ●投資信託に係る費用について [ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

##### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.85%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

##### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.09%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

■ その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

### 【ご注意事項】

●当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

●お申込に際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

●当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

●当資料における内容は作成時点（2023年4月28日）のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

●投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

### 【アセットマネジメントOneについて】

アセットマネジメントOneは、DIAMアセットマネジメント、みずほ信託銀行の資産運用部門、みずほ投信投資顧問及び新光投信（以下、総称して「統合4社」）が統合し、2016年10月に発足した資産運用会社です。「投資顧問事業」と「投資信託事業」の双方の事業領域における運用資産残高は約62兆円と国内有数の規模を誇ります。統合4社が長年にわたって培ってきた資産運用に係わる英知を結集し、「投資の力で未来をはぐくむ」をコーポレート・メッセージに掲げる資産運用会社として、グローバル運用リサーチ体制に支えられた伝統的資産のアクティブ運用や金融工学を駆使した最先端の運用戦略 等、個人投資家や機関投資家の多様な運用ニーズに対し、最高水準のソリューションの提供をめざします。

※運用資産残高は2023年3月末時点。公式HP <http://www.am-one.co.jp/>

商号等 / アセットマネジメントOne株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号 加入協会 / 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会